

# 読書活動推進NEWS

## 癒やしの空間づくり～只見町立只見中学校～

6月23日(木)に只見中学校の図書室を訪問しました。只見中学校の図書室は、全校生が必ず通る階段の先に設置されています。そこには仕掛けたっぶりの空間が広がっています。



### 【オススメ本のコーナー】

図書室の定番コーナーですが、選書の視点が特徴的！  
「日の当たらない良本に光を！」  
なかなか手にとってもらえない良書にスポットを当てています。



### 【新刊コーナー】

これも定番のコーナーですが、「森の新刊案内所」というネーミングが素敵です。文字通り新刊が並び、校長先生や保護者も借りていくそうです。



### 【葉(しおり)のプレゼント】

あじさいをイメージした葉がディスプレイと並んでテーブルに置かれています。癒やしの空間の演出にもなっています。



### 【部活動全力応援コーナー】

部活動のさかんな只見中。各競技の本とともに、体づくりや動き方、ストレッチなどの体のケアに関する本も並んでいます。



### 【学校図書館司書:春日沙耶花さん】

只見中学校の卒業生です。学校や生徒、先生方にはありがたい週5日の御勤務です。



### 【いとも簡単にブックカバーかけ】



### 【何でも手づくり】

「日本十進分類法」や各コーナーのポップや装飾はほぼ手づくりです。また、手書きのメッセージは温かさが伝わってきます。本や図書室に親しみやすくなるよう、環境づくりに努めています。

図書室常連の生徒は月に20冊程度本を借りていくそうです。また文学作品の貸出が多いというのは意外でした。しかし、学年ごとに違いはありますが、本好きな生徒は減っていると感じるそうです。

何かと忙しい中学生のみなさんです。本を手にとる時間もないのでしょうか。各校の図書室にはたくさんの良書が並んでいます。時間のやり繰りをして、まずは1冊手に取り、寝る前のひと時を過ごしてみたいかがでしょうか。